

Ex 5 富山の文化・観光コース（予定定員：20名）

申し込み状況により中止する場合がありますのであらかじめご了承ください。

1. 視察コースの概要（現地視察の分野・テーマ、視察ポイントの紹介）

富山県は、三方を山に囲まれ、一方は日本海に面している。僅か50kmの距離で標高3,000mの山から水深1,000mの海まで、標高差が4,000mもあり、急峻な河川といくつもの複合扇状地を有するなど自然に恵まれた地域でもある。また、日本のほぼ中央に位置しており、古来より東西文化の融合点または接点として、多様な文化が育まれている。特に、県西部には、加賀藩による国宝瑞龍寺や世界文化遺産の合掌造り集落などの文化遺産を有する。

本視察コースでは、県西部の世界遺産や国宝を訪れるとともに、伝統産業の一つである鑄造工場の視察も行う。

2. 視察箇所

(1) 主な視察箇所

- ・富山県美術館・・・ピカソやシャガールら20世紀初頭に活躍した巨匠たちの作品からシュルレアリズムや抽象美術など多彩な20世紀の美術品、日本や富山を代表する作家のポスター・椅子などデザイン作品を鑑賞できます。屋上庭園から見える立山連峰は絶景です。
- ・富岩運河環水公園・・・芝生が広がる開放的な園内では、子どもからお年寄りまで、誰もが心地よいひとときを過ごすことができます。広々とした開放的な景観は、気分をリフレッシュさせてくれます。
- ・瑞龍寺(国宝)・・・加賀藩百二十万石の財力を如実に示す江戸初期の典型的な禅宗寺院建築。山門、仏殿、法堂が建造物として1997年に国宝指定。総門、禅堂、大庫裏、大茶堂、回廊三棟が重要文化財として指定。
- ・五箇山合掌造り集落(世界文化遺産)・・・五箇山は今も人々が生活する暮らしの場であり、日本の原風景そのもの。1995年に「世界文化遺産」に登録。

(2) その他（産業観光）

- ・(株)能作 工場見学(鑄造工程)・・・高岡で400年以上にわたって育まれてきた鑄造の作業工程を視察。



3. 留意点（服装、装備等、特にあらかじめ周知が必要な事項）

- ・特になし